

百の診療所より一本の用水路を

多くの人に見て欲しい…

DVD版

荒野に希望の灯をともす

アフガニスタンとパキスタンで35年にわたり、病や戦乱、そして干ばつに苦しむ人々に寄り添いながら命を救い、生きる手助けをしてきた医師・中村哲。中村医師が命を賭して遺した物は何なのか、その視線の先に目指していたものは何なのか。



とき

11月19日 (日)

【1回目】 11:00 上映開始

【2回目】 14:00 上映開始

※1回上映時間約88分

ところ

中津川市ひと・まちテラス1階101a-b

(岐阜県中津川市新町2-34)

参加費

大人:300円・学生:100円

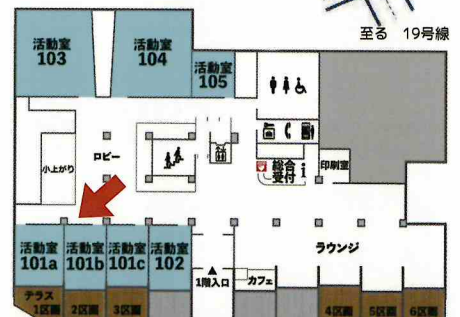
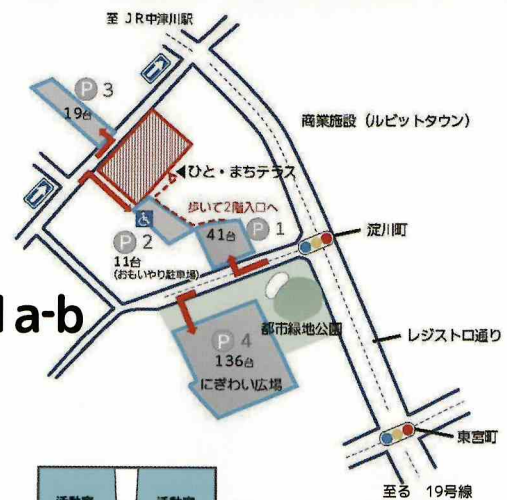
お問合せ

090-7698-9889 (青木)

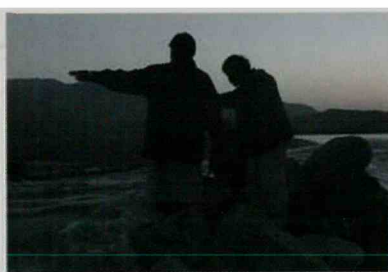
主催

中村哲映画上映実行委員会

右記のQRコードから本作の
予告編がご覧いただけます。



【後援】 中津川市教育委員会



感動の声が続々と寄せられています！

百聞は一見にしかず、見る事が出来てとても良かったです。

中村先生の生き方から人の生きる勇気をもらいました。人は何の為にどう生きるか!!

中村先生の命見つめる姿に感動しました。

武器より命を大切にすることが平和になるとの考えが素晴らしい。

気の遠くなる年月をかけて用水路を作られる姿と意志の強さにただただ感動しました。

素晴らしい哲先生の生き様です。涙が溢れました。

もっと若い人たちに見てもらいたい。海外の人にも知らせてほしい。

来て良かった 来て良かったです。

これは「生きるための」戦いだ。

アフガニスタンとパキスタンで35年に渡り、病や貧困に苦しむ人々に寄り添い続けた、医師・中村哲。戦火の中で病を治し、井戸を掘り、用水路を建設した。なぜ医者が井戸を掘り、用水路を建設したのか？そして中村は何を考え、何を目標したのか？



「彼らは殺すために空を飛び、

我々は生きるために地面を掘る。」 — 中村哲

中村の誠実な人柄が信頼され、医療支援が順調に進んでいた2000年。思いもよらぬ事態に直面し、中村の運命は大きく変わる。それが“大干ばつ”だ。渇きと飢えて人々は命を落とし、農業は壊滅。医療で人々を支えるのは限界だった。その時、中村は誰も想像しなかった決断をする。用水路の建設だ。大河クナールから水を引き、乾いた大地を甦らせるというのだ。しかし、医師にそんな大工事などできるのか？戦闘ヘリが飛び交う戦火の中で、無謀とも言われた挑戦が始まった。

「ここには、天の恵みの実感、誰もが共有できる希望、

そして飾りのないむきだしの生死がある。」 — 中村哲

専門家がいなまま始まった前代未聞の大工事は、苦難の連続だった。数々の技術トラブル、アフガン空爆、息子の死…。中村はそれらの困難を一つ一つ乗り越え、7年の歳月をかけ用水路は完成。用水路が運ぶ水で、荒野は広大な緑の大地へと変貌し、いま65万人の命が支えられている。そして—。

2019年12月。さらなる用水路建設に邁進する最中、中村は何者かの凶弾で命を奪われた。その報にアフガニスタンは悲しみに沈み、ニューヨークタイムズ、BBCなどが悲報を世界に伝えた。あれから2年半。日本ではその生き方が中学や高校の教科書で取り上げられ、評伝などの出版も続いている。中村の生きた軌跡は、これから長く人々に語り続けられるだろう。そして彼がアフガンに遺した用水路は人々の命を支え続けるだろう。

戦火のアフガニスタンで21年間継続的に記録した映像から、これまでテレビで伝えてきた内容に未公開映像と現地最新映像を加え劇場版としてリメイク。混沌とする時代のなかで、より輝きを増す中村哲の生き方を追ったドキュメンタリー。



اوره پهدی خاوره
له کرونده کی
بني او محبته
خ خه نه کړو

